

三菱UFJ銀行ES

1. 学生生活で力を入れたこと(20文字)

1.1. 物理学の公式を証明すること

1.2. 学部の卒業研究

2. 具体的な行動(400文字)

2.1. 公式

私が学生時代に力を入れたことは、大学で習う物理学に出てくる公式を全て自分で証明しようとしたことです。高校までの勉強でも数学や理科で様々な公式を習いますが、大学での物理学にも公式があります。多くの物理学徒が公式を受け入れて利用する中、私は公式の丸暗記は好きではありませんでした。納得するために、公式を自分で全部証明しようと思いました。ただ、そのためには物理学だけでなく数学の知識が必要でした。そこで、まず私は物理学と数学の関係を説明している専門書を読み、物理学の中で数学が果たしている役割が如何に大きいかを理解しました。その後、同じように公式の丸暗記が好きではない友人2人に声を掛けて数学の重要性を説き、3人で数学のゼミを行いました。3人の中では私が1番数学の知識があったので、議論をリードしました。また、私は数学科の講義も履修し、単位を取得しました。その結果、公式の一部については証明できました。(398文字)

2.2. 卒業研究

私が学生時代に力を入れたのは、共同実験者2人と半年間行った学部の卒業研究です。研究テーマは「粘着面同士を貼り合わせた2枚のガムテープを剥がしたときに出る光」でした。6種類のガムテープ計70巻を使い、この光が発生する原因を調べました。前例の無いテーマだったので、ガムテープを剥がすのに必要な力の大きさを調べた上で、実験装置を設計してオーダーする段階から始める必要がありました。予算と時間が限られている中、メンバー内には焦りが生じ、雰囲気が悪くなるときもありました。そんな状況下でも、私は発光現象の理論的側面を深く学んだ上で、既存の理論との比較検証を可能にする新たなデータ分析手法を提案し、やって見せることで明るい話題を増やしました。また、メンバーからの提案は必ず実行に移し、不満が溜まることを防ぎました。これらの行動が奏功して説得力のあるデータ解釈を得ることができ、40分間の発表を成功させました。(398文字)

2.3. 卒業研究(修正版)

共同実験者2人と半年間行った卒業研究に力を入れました。研究テーマは「粘着面同士を貼り合わせた2枚のガムテープを剥がしたときに出る光」でした。簡単で意外な現象に心惹かれ、6種類のガムテープ計70巻を使って、光が発生する原因を調べました。前例の無いテーマだったので、実験装置を設計してオーダーする段階から始める必要がありました。予算と時間が限られている中、メンバー内には焦りが生じ、雰囲気が悪くなるときもありました。そんな状況でも、私は発光現象の理論的側面を学んだ上で、既存の理論との比較検証を可能にする新たなデータ分析手法を提案し、やって見せることで明るい話題を増やしました。また、メンバーからの提案は必ず実行に移し、不満を抑制しました。これらが奏功して説得力のあるデータ解釈を

得ることができ、40分間の発表を成功させました。この経験を経て、悩みながらもチームで一つのものを作り上げる力が付きました。(400文字)

3. 志望動機(200文字)

私は御社の事業内容に惹かれました。私の就活の軸は「人の意思決定を支援しながら、自分も成長できる職を選ぶ」というものです。この軸に合う職として、銀行の法人営業業務に興味を持ちました。特に、日本最大の金融グループであり、海外事業やDXにも力を入れている貴行でなら、お客様に豊富なソリューションを提供でき、幅広い業務に携わる中で自分も成長できると考え、貴行への入社を志望しています。(188文字)

4. 志望動機(200文字)(修正版)

「人の意思決定を支援しながら、自分も成長できる」環境だと感じたからです。金融業界は人生における意思決定に深く関わる「お金」を扱っており、その中でも銀行、特に貴行では多様な業務に携わる中で自分自身が成長出来ることに惹かれました。何故なら、貴行は日本最大の金融グループの中核として海外事業やDXにも力を入れており、お客様に豊富なソリューションを提供しながら、幅広い業務に関わる中でスキルを磨くことが出来るからです。(198文字)

5. 志望動機(200文字)(修正版)

法人営業担当として1番良い提案を出来る環境だと感じたからです。私は貴行のインターンシップに参加して法人営業業務に興味を持ち、悩みながらチームで企画を完成させた自分の経験が生きると思いました。特に、幅広いソリューションを持ち、親しみやすい行員の方が多い貴行に惹かれました。なぜなら、お客様に多くの選択肢を提案でき、チームとして連携しやすい環境にいたることが、より良い提案に繋がると思うからです。(193文字)